

<領域：こころとからだのしくみ>

発達と老化の理解

問題 69 愛着行動に関する次の記述のうち、ストレンジ・シチュエーション法における安定型の愛着行動として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 養育者がいないと不安な様子になり、再会すると安心して再び遊び始める。
- 2 養育者がいないと不安な様子になり、再会すると接近して怒りを示す。
- 3 養育者がいないと不安な様子になり、再会すると関心を示さずに遊んでいる。
- 4 養育者がいなくても不安な様子にならず、再会すると関心を示さずに遊んでいる。
- 5 養育者がいなくても不安な様子にならず、再会すると喜んで遊び続ける。

問題 70 乳幼児期の言語発達に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生後6か月ごろに初語を発するようになる。
- 2 1歳ごろに喃語なんごを発するようになる。
- 3 1歳半ごろに語彙爆発が起きる。
- 4 2歳半ごろに一語文を話すようになる。
- 5 3歳ごろに二語文を話すようになる。

問題 71 2019年(平成31年, 令和元年)における, 我が国の寿命と死因に関する次の記述のうち, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 健康寿命は, 平均寿命よりも長い。
- 2 人口全体の死因順位では, 老衰が悪性新生物より上位である。
- 3 人口全体の死因で最も多いのは, 脳血管障害(cerebrovascular disorder)である。
- 4 平均寿命は, 男女とも75歳未満である。
- 5 90歳女性の平均余命は, 5年以上である。

問題 72 Aさん(87歳, 女性, 要介護3)は, 2週間前に介護老人福祉施設に入所した。Aさんにはパーキンソン病(Parkinson disease)があり, 入所後に転倒したことがあった。介護職員は頻繁に, 「危ないから車いすに座っててくださいね」と声をかけていた。Aさんは徐々に自分でできることも介護職員に依存し, 着替えも手伝ってほしいと訴えるようになった。

Aさんに生じている適応(防衛)機制として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 投影
- 2 退行
- 3 攻撃
- 4 抑圧
- 5 昇華

問題 73 記憶に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エピソード記憶は、短期記憶に分類される。
- 2 意味記憶は、言葉の意味などに関する記憶である。
- 3 手続き記憶は、過去の出来事に関する記憶である。
- 4 エピソード記憶は、老化に影響されにくい。
- 5 意味記憶は、老化に影響されやすい。

問題 74 老化に伴う感覚機能や認知機能の変化に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 大きな声で話しかけられても、かえって聞こえにくいことがある。
- 2 会話をしながら運転するほうが、安全に運転できるようになる。
- 3 白と黄色よりも、白と赤の区別がつきにくくなる。
- 4 低い声よりも、高い声のほうが聞き取りやすくなる。
- 5 薄暗い部屋のほうが、細かい作業をしやすくなる。

問題 75 高齢者の睡眠に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 午前中の遅い時間まで眠ることが多い。
- 2 刺激を与えても起きないような深い睡眠が多い。
- 3 睡眠障害を自覚することは少ない。
- 4 不眠の原因の1つはメラトニン(melatonin)の減少である。
- 5 高齢者の睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome)の発生頻度は、若年者よりも低い。

問題 76 高齢者の肺炎(pneumonia)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ  
選びなさい。

- 1 意識障害になることはない。
- 2 体温が37.5℃未満であれば肺炎(pneumonia)ではない。
- 3 頻呼吸になることは、まれである。
- 4 誤嚥<sup>ごえん</sup>による肺炎(pneumonia)を起こしやすい。
- 5 咳・痰<sup>せき たん</sup>などを伴うことは、まれである。